

○題材 「すきなもの いろいろ」【学級活動(2)イ よりよい人間関係の形成】

○ねらい

- ・人の好きなものは多様で、「男・女」などで決めつけられないことを理解する【知識・技能】
- ・自分の好きなものを肯定される心地よさを体感し、友だちの好きなものを温かく肯定することができる。【思考・判断・表現】

【人権教育を通じて育てたい資質・能力】

- ・友だちの気持ちや意見を大切にしながら、自分の気持ちや思いを表現できる。【技能】
- ・自分や友だちの個性やよさを認めようとする。【態度】

○準備物：すきなものカード、シール、振り返りシート、アンケート結果(掲示用)、すきなものカード(掲示用)

○指導の展開及び指導上の留意点

※丸数字は「とっとりの授業改革【10の視点】」

	学習活動	◎主な発問等 ・児童の反応	指導上の留意点と評価方法(※)
導入 (つかむ)	1 「すきなものカード」を作る。 2 活動のめあてを確認する。	◎みんなの好きなものや服装のシールを「すきなものカード」に貼りましょう。(②) ◎先生の好きなもの(こと・人)を人に言ったら驚かれたことがありました。 ◎事前アンケートを見ると、「自分の好きなものを変えと言われた」ことがあるという人もいます。先生だけでなく、クラスの友だちの中にもそのような経験をしたことがあるみたいです	○児童が好きなキャラクターや服装などのシールを自由に貼ってよいことを伝える。 ○できれば、指導者の実体験を伝える。 ○掲示した事例が児童にとってのバイアスにならないように配慮することが必要である。 ○事前にとったアンケート結果などから、めあてにつなげる。
(本時のめあて) 自分と友だちの好きなものについて考えよう。(①)			
展開 (さぐる)	3 好きなものについて話を聞く。 4 好きなものや自分のことを隠して	◎先生の友だちの中に、こんな人がいるんです。 (例) ○好きなものが小さい子みたいだと言われる人 ○アニメなどで、悪役のキャラクターが好きな人 ○オバケを信じている人 ◎(例)の人は、自分の好きなものや自分のことを言えずに、隠して生活しているのです。 ◎好きなものや自分のことを隠している人がいるのはなぜでしょう。	○それぞれの人に共感していることを身近に感じられるように、「先生の友だち」などと紹介する。 ○「すきなものカード」を掲示しながら話す。 ○掲示した事例が児童にとってのバイアスにならないように配慮することが必要である。 ○例で挙げた人物が、好きなものを隠していることを伝え、隠している原因を考えられるようにする。 ○隠さないといけないという発言があった場合、その理由を聞いた

	<p>いるのはなぜか考える。</p> <p>5 自分の好きなものを「好き」と言えるためにどうしたらよいか話し合う。</p> <p>6 これから、自分はどんなことを意識して生活していきたいか、めあてを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものを変と言われるから。 ・笑われたらいやだから。 ・恥ずかしいから。 ・「そんなものが好きなの」と言われるから。 ・男女で決めつけているから。 <p>◎隠さないといけないことなのかな。</p> <p>◎みんなの好きなことや好きなものを隠さなくてもいいようにするには、どうすればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が好きなものを悪く言わない。 ・笑わない。 ・男・女で決めつけない。 ・「男みたい」「女みたい」など言わない。 <p>◎みんなが好きなものを好きと言えるようになるために、どうしていきたいですか。(⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいね」「わたしも好き」と言ってあげる。 ・「〇〇みたい」と言わない。 ・いやな言葉を言わない。 ・自分だけで決めつけない。 <p>◎はじめに作った「すきなもののカード」を貼り直してもいいです。</p> <p>◎近くの友だちに「すきなもののカード」を見せて紹介しましょう。</p>	<p>り、好きなものなどを話したくても話せずに悲しい思いをしたままの人がいてもよいかと問いかけたりしながら、肯定的に考えられるようにする。</p> <p>○ペアトークをしてから全体でシェアする。</p> <p>○振り返りシートに、これからどのようにしていきたいのかを記入させ、全体で共有する。 ※人の好きなものは多様で、「男・女」などで決めつけられないことを理解しているか。 (振り返りシート、発表)</p> <p>○はじめに作った「すきなもののカード」を手直しする時間を設け、自分の好きなものを堂々と言えることの喜びを体感させられるようにする。</p> <p>○友だちと「すきなもののカード」を見せ合い、受け止め合う時間を設ける。 ※自分の好きなものを肯定される心地よさを体感し、友だちの好きなものを温かく肯定することができているか。(観察)</p>
<p>終末</p>	<p>7 授業を振り返る。</p>	<p>◎3の例に挙げた人たちのことを思い出してみてください。先生の友だちの好きなことについてどう思いますか。</p> <p>◎本時の学習で学んだこと、感じたことを振り返りましょう。(⑧)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すてきだね」と言う相手がかうれしい気持ちになる。 ・優しい言葉を使うと、こんなにうれしいんだと思った。 ・「いいね」「すてきだね」と言うようにしたい。 	<p>○児童の発表から肯定的に捉え直せるようにする。</p> <p>○振り返りシートに、学習を通して考えたことを記入させる。</p> <p>○学習する学年によって、振り返りシートの工夫が必要。(選択式、記入式等)</p>

すきなもののいろいろ

なまえ()

○じぶんの すきなものを へんだと いわれたり、わらわ
れたり したことは ありますか。

(ある・ない)

○そのとき どう おもいましたか。

○ともだちが すきなものを へんだと いわれているのを
みたり きいたり したことは ありますか。

(ある・ない)

○そのとき どう おもいましたか。
